



Leaf

2004年4月27日
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
医事第二課(地域医療連携係)
発行責任者 院長 利部 輝雄

盛岡赤十字病院医療連携だより No.2



連携だよりの名称「Leaf」は、当院の電子カルテのシステム名称で、その名のとおり木の葉を意味しております。開発元の国立国際医療センターでは、一枚一枚の葉が光合成を営み大木の生命が育まれていることを病院に譬え、スタッフ一人一人がそれぞれの責務を果たすために必要な情報の共有を、電子カルテがサポートすることにより一貫性のあるチーム医療が実現できることから「Leaf」と命名したと伺っております。

当院では連携だよりを発刊するにあたり、多くの医療関係機関がそれぞれの役割を果たし、さらに連携することでよりよい医療が実現される“医療連携”に相通じるものがあると考え、連携だよりも「Leaf」と名づけました。

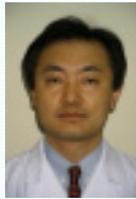
また、Leafのマークは、当院敷地内にそびえるプラタナスの木（和名：すずかけ）の葉を電子カルテ端末のデスクトップ画面用にデザインしたものです。プラタナスの木は、西洋医学の始祖ヒポクラテスが晩年故郷コス島の町の広場に繁ったこの木の下で弟子達に「医学」を説いたという伝説があり、通称“ヒポクラテスの木”と呼ばれております。

当院も医療を育む1枚のLeafとして役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、ご指導ならびにご支援をお願い申し上げます。

盛岡赤十字病院 地域医療連携室長 西城 精一

新任常勤医師紹介

4月から勤務している医師をご紹介します



神経内科

野崎 有一 部長

1. 上閉伊郡大槌町出身
2. 岩手医科大学卒(昭和61年)
3. 診療科: 神経内科
4. 日本神経学会専門医
日本リハビリ学会認定医
5. 得意分野: パーキンソン病
6. 脳卒中の予防に力を入れたいと思いますので、
よろしく願います。



眼科

高橋 洋司 部長

こちらへ移る前の岩手医大では、「神経眼科」(脳・神経の関連で診る眼科学の一分野)を担当。頭痛・複視で来院した患者様で、脳動脈瘤・硬膜内頸動脈・海綿静脈洞瘤・脳梗塞を眼科で見抜き、救命の経験も重ねてきた。緑内障が見逃されているケースもあるので、頭痛の原因検索の過程で、除外診断として眼科にも紹介して頂きたい。最後に、都南を中心に東西・以南の白内障患者を当病院へ集約させるように頑張っていきたい。



小児科

石田 研一郎 副部長

4月よりお世話になっております。盛岡の北の端より毎朝30分間のドライブにもようやく慣れて来ました。マウスを握る。(コンピューターの)新生児を診る~しばらくぶりです。中・近両用の眼鏡を初めて使用する。以上の3点が私にとっての大きな変化です。盛岡の北方領土に住んでいた人間にとって都南文化圏はややとまどいを覚えることもありましたが、最近では親しみを感じるようになりました。宜しく願い致します。



脳神経外科

木戸口 順 副部長

脳神経外科の木戸口です。ごく一般的な脳神経外科診療を急性期から在宅医療まで行ってきました。主として、脳卒中と頭部外傷を診て、手術治療の主体は脳動脈瘤でした。これからは、急性期治療が主な役割と考えますが、特にくも膜下出血の治療には、積極的に取り組んでおります。頭痛の患者さんは、いつでも診ますので気軽に声をかけてください。嘔吐や意識障害を伴うときは、遠慮なく、救急車で寄越してください。よろしく願います。



循環器科

永野 雅英 医師

平成16年4月より盛岡赤十字病院に採用して頂いた循環器科の永野雅英です。今年3月に岩手医大の大学院を卒業し、これから2年間当院で診療にあたる予定です。一応の得意分野は動脈硬化性心血管疾患(脈波伝播速度など)ですが、まだまだ若輩者ですので、諸先輩方の御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

3月末退職医師

循環器科 橘 英明
神経内科 金正門
眼科 三善 恵
お世話になりました。

連携係からお知らせ

Leafのバックナンバーは、当院ホームページでご覧いただけます。
<http://www.morioka.jrc.or.jp/index.htm>



当院では、紹介状を持参しない初診患者さまにお支払いいただく負担額を、4月1日から1,580円(消費税込)に改定いたしました。



- ご利用ください画像診断 - 放射線科検査のご案内

- ・CT検査
- ・MRI検査(ペースメーカー装着者は対象外です。)
- ・核医学検査(骨シンチグラフィ)

放射線科受付に直接電話で検査日時を予約いただき、「患者紹介予約用紙」を連携係にFAXしてください。患者様には「紹介状・診療情報提供書」をお渡しください。検査のフィルム及び報告書は4~5日中にお送りいたします。



- ゴールデンウィークの診療体制 - (カレンダーどおりの休みです)

4月29日・5月1日~5日は休診させていただきます。急患室に連絡をお願いいたします。

ご意見・ご要望の紹介

紫波・矢巾地区に引き続き、旧都南地区の医療機関を訪問させていただきました。訪問先の先生方には、お忙しい中お時間を取っていただき、貴重な、ご意見・ご要望を頂戴しました。

その中の一部ではございますが、病院としての回答を添えてご紹介いたします。

日赤が都南に来るときの要望は、紹介した患者様がある程度よくなった時点で返して欲しいということだった。先生方も変わっているので知らないだろうが。

急性期は紹介し、安定したら引き受ける。役割分担をお願いしたい。

患者さんを回してもらって助かっている。手のかからない患者さんは紹介してほしい。

A: 昨年8月から症状の安定した患者さまについては他医療関係機関への紹介を推進する旨を院内に掲示し、併せて初診時と入院時に同内容の文書を患者さまに配布して理解を求めています。当院は急性期一般病院としての機能を果たすため、症状の安定した患者さまにはかかりつけ医や療養型医療機関での受診をお勧めしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

土曜日は大きい病院が休みで引き受けてくれる病院がない。

夜間でも入院を受け入れてもらえると助かる。

時間外でも無理に頼んでいる。キチンと対応してくれて満足している。

A: 土曜・日曜・祝日・時間外は、内科系・外科系・産婦人科各1名の医師3名体制で診療しております。急患室にご連絡いただければ当直の医師が診療いたしますのでご利用下さい。また、当直医師が対応できない場合はオンコール体制で診療いたしますのでどうぞご紹介ください。

患者紹介予約用紙と紹介状で、患者氏名・生年月日・住所を二重に書かなければならない。一度で済むようにしてほしい。

A: お手数をおかけして申し訳ございません。6月中にはご要望に添った新しい様式をお届けできるよう検討しております。

詳しい検査をしないで紹介するのは気が引けるときがある。

このような病状で紹介したら悪いと遠慮することがある。

A: そのようなお気遣いはなさらずに、どうぞお気軽にご紹介下さい。

以前は部屋が無いと断られたこともあったが、全て引き受けていただいて助かっている。

わからない患者は全てお願いしている。安心して診療することができる。

A: ありがとうございます。急性期一般病院としてのベッドは確保するよう努めます。今後ご期待に添えるよう職員一同努力いたします。